



Windows の WDMアプリケーションをDAWで録音する方法



Setup

DAWのASIOアプリケーションで WindowsのWDMオーディオの間でオーディオをモニターしたり録音したりするための Merging Audio Device の設定です。

Prerequisites

- Merging Audio Device DriverがPCにインストールされ、DAWで使用できるように設定されていること。
- PCにMerging RAVENNA/AES67デバイスが接続されていること。

Procedure

1. Merging Audio Device パネルを開いてください。
Channel Settings で、サンプリングレートに応じて十分な数のブリッジチャンネルが設定されていることを確認してください。
WDM Settings で、必要な数の出力を設定し、出力マップを使ってブリッジチャンネルを選択します。
この例では、ステレオ出力を Bridge Channel 1-2 を使用します。

Channel Settings

	44.1/48k	88.2/96k	176.4/192k	352.8/384k/DSD
Inputs:	128	128	64	32
Outputs:	128	128	64	32
Bridge channels:	16	16	8	4

ASIO Settings

Master ASIO host: Pyramix

Sample rate: Pyramix [48000]

Buffer size: 256 [smp] @ 44.1kHz/48kHz

ASIO hosts: Mix safe mode

WDM Settings

Enable WDM

Inputs: 2

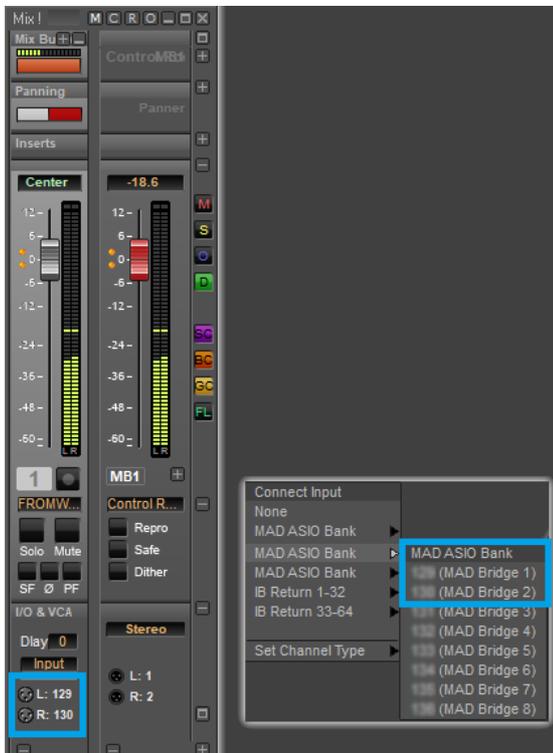
Inputs map: Input 1-2

Outputs: 2

Outputs map: Bridge Channel 1-2



2. Merging Audio Device ASIOドライバが動作するように設定されたDAWを起動します。
この例では、Pyramixを使用します。
MAD Bridge Channel を入力として設定してください（この例ではMAD Bridge 1-2）。



以上で Windows のオーディオアプリケーション（Youtube、Spotify、....）で再生した音を DAWでモニター／録音することができるようになりました。

Notes :

- Windows システムの音に邪魔されないようにするには、Windowsシステムの音を無効にするか、アプリケーションごとにWindowsの音声出力を設定してください。
- サンプリングレートが高くなると、チャンネル数が少なくなりますので注意してください（MAD Panel - Channel Settingsセクションのサンプリングレートごとのチャンネル数を参照）。
- WDMチャンネルが利用可能なASIOチャンネルにマッピングされていることを確認してください（例えば、利用可能な ASIO 出力が 8ch しかない場合、WDMを 9～10 にマッピングしても動作しません）。
- WDMオーディオは、現在DSDサンプリングレートでは使用できません。
- Windowsのオーディオアプリケーションには、192Khz以上の周波数で動作しないものや、ステレオ以上のマルチチャンネル出力に対応していないものがあります。

詳しくは[このページ](#)をご覧ください。